

鉢植えで挑戦、黄色い小粒の宝石 トウモロコシ

米、小麦と並んで世界三大穀物のひとつ。中南米が原産でコンブスがヨーロッパに持ち帰ったことから各地で栽培されるようになりました。実の上にあるひげは、めしべの花柱。粒の数とひげの本数は同じなんです。



●トウモロコシの育て方

<h3 style="text-align: center;">1 鉢上げ</h3> <p style="text-align: center;">ひとまわり大きい ポットで育苗</p> <p>2号ポットに植えられている苗を、鉢での栽培でも根をしっかり張らせるために、少し大きめのポットに植え替えます。はじめに培養土を少し下に入れ、苗の高さを確認してから植え替えます。その際に、根鉢は崩さないように注意しましょう。</p>	<h3 style="text-align: center;">2 植えつけ</h3> <p style="text-align: center;">安定するまでは、 根元に仮支柱を</p> <p>ポットの底から根が出てきたら、10号鉢に植え替えます。鉢の5~6分目まで培養土を入れ、鉢の真ん中に苗を置きます。培養土を茎の下部が埋まる高さまで足し、苗が定着するまで仮支柱を立てて支えておきます。</p>	<h3 style="text-align: center;">3 追肥・収穫</h3> <p style="text-align: center;">ひげが枯れたら 収穫適期</p> <p>花を咲かせるまで成長した後、仮支柱を取ります。茎を支えるための不定根が土から出ているので、隠れるまで土を足します。小さじ1程度の肥料を鉢のふち近くにまき、さらに上から培養土を足します。ひげが枯れてきたら収穫です。実を持ち、下に向けてもぎ取りましょう。 (実のなりはじめで茎が倒れるようであれば支柱を添える)</p>
---	---	---

トウモロコシの 栄養成分

野菜の中では高カロリーで、糖質とたんぱく質が主成分。また、食物繊維の宝庫でもあるため、腸をきれいにする効果が期待されています。ただ、収穫後24時間で栄養が半減してしまうため、ぜひ家庭で育てた際は採れたてで味わってください。



●用意するもの

- 苗
- 3.5号ポット(育苗用)
- 10号鉢
- 鉢底石
- 化成肥料
- 培養土
- 仮支柱・支柱
- 紐

●栽培カレンダー

1	
2	
3	
4	■ 鉢上げ
5	■ 植えつけ
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	

●栽培の ポイント

- できるだけ日当たりのよい場所で育てる。
- 開花後は水を切らさないようにする。
- 花が咲いたら、頂上にある雄花を取って雌花と受粉させると実がなりやすい。

●ここに注意

- 収穫は1鉢に1本で、数多く収穫できるというわけではありません。また、開花後の夏の期間は乾燥しやすい季節です。朝と晩に土の状態を見て、土の表面が乾いていたら、鉢の底から水が流れるくらいたっぷりの水をあげましょう。